

# 留寿都高校だより

令和3年7月号

(令和3年7月21日発行)

TEL (0136) 46-3376

FAX (0136) 46-3386



## 夏季休業にむけて

北海道留寿都高等学校長 齋藤 譲一

いよいよ夏季休業となります。今年度は、7月22日(木)から8月15日(日)の25日間の夏季休業です(昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で夏季休業中に授業日を設定したため、13日間)。皆さんの適切な感染予防対策もあり、本校では学年閉鎖や臨時休業といった措置をとることなく、夏季休業を迎えることができました。ただ、感染力が強いとされる変異株の出現による感染拡大も懸念されることから、夏季休業期間中においても適切な感染予防対策を引き続き行ってください。この夏季休業期間には、様々な学習課題が出されています。学習課題が評価に反映されるのはもちろんですが、これは、一般的に社会においても求められる「計画的な取組」を身に付けるためにもとても大切です。そのことを踏まえ、計画的に取り組み、有意義な夏季休業としてください。

8月には卓球部女子が奈良県で開催される全国大会に出場します。北海道代表として日頃の練習の成果を十分に発揮することを祈っています。そして、生徒の皆さんが有意義な夏休みを過ごし、8月16日には元気に登校してくる事を願っています。

## 『野球部奮闘!! 北海道代表決定戦!!』



キャプテン飯酒盃くん

エース吉村くん

7月7日(水)に札幌の美香保公園B野球場で、全国高等学校定時制通信制軟式野球大会北海道代表決定戦が行われました。本校の野球部は一回戦で札幌北高等学校と対戦し、善戦しましたが惜しくも1対5で負けてしまいました。残念ながら、全国大会への切符を手にする事は叶いませんでしたが、様々な制限の設けられた中で必死に練習時間を確保し、2年ぶりとなった公式試合へと出場を果たした経験は、大きな成果となったように感じます。応援して下さった皆さまに多大なる感謝を申し上げます。

## 4年生 介護実習へ!!

7月9日(金)6時間目に、4年生の教室で介護福祉施設実習の実習決意式が行われました。前期の実習は、本来であれば5月17日から4週間ほど実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、6月28日からの実施に延期され、さらなる延期を経て7月12日から2週間の日程で実施できることになりました。実習を受け入れて下さっている福祉施設の皆さまには感謝の念に堪えません。ここでの実習を経て、それぞれの進路に向かい大きな学びを得て帰ってくることを心から祈っています。頑張れ4年生!!

なお、介護福祉施設実習(後期)につきましては、8月30日からの開始を予定しておりますので、その際の様子等に関しましては、今後、随時お伝えいたします。



松田くんによる決意の言葉です。

\*\*\*\*\*

## 卓球部表敬訪問

7月12日(月)の放課後に、留寿都村役場内で本校の卓球部女子4名(3年生 神原小夏さん、2年生 渋谷彩夏さん、藤谷千秋さん、1年生 菅井楓花さん)による表敬訪問が行われました。

卓球部は、先日の北海道高等学校定時制通信制体育連盟卓球大会において好成績を残し、8月3日(火)から7日(土)にかけて奈良県で行われる全国大会に出場する予定です。大会への出場を前に、留寿都村長 佐藤ひさ子様に向けて勝利への抱負を述べ、村長からは激励のお言葉をいただきました。頑張れ卓球部!!



部長の神原さんが代表で決意を述べました。

\*\*\*\*\*

※学校祭につきましては、裏面に特集を組み、写真を数多く掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

\*\*\*\*\*

## 8月の主な行事予定

~15日	夏休み(15日が開寮日です。) ※課題の取り組み忘れにご注意下さい。	26日~	全道意見発表大会(~27日:更別) ※動画による審査が実施されます。
17日	介護職員初任者研修(2年生:農業福祉コース)	30日~	4年生介護福祉施設実習(後期:~9/10)
21日	体験入学(登校日)	※JAようてい農業祭やルスツ産業祭、帯広での開催が予定されていましたが全道技術競技大会は中止となっておりますので、ご承知おきください。	
23日	休日(21日の振替休日)		
24日~	前期期末試験(~30日)		

※詳細につきましては、別紙で教務部より配布しております「令和3年度 8月 行事予定」をご覧ください。

# 学校祭特集『～百花斉放な生徒たち～』



7月16日(金)に本校の体育館を会場として令和3年度の学校祭が行われました。新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、中止を余儀なくされた昨年度の悔しさをバネに、日程縮小や様々なリスク回避の難題を乗り越え、開催へと至りました。生農会執行部がゼロから考えて作り上げた学校祭は、次年度へと繋がる大きな一歩を踏み出せたように感じます。動画コンテストや教室中継、リアルタイムでの投票と現代的な学校祭になりましたが、楽しそうに笑う生徒の姿を見守り、穏やかに一日が過ぎました。

